

映画「蟹工船」リバイバル上映!

11月22日(土)アブリコホールで、小林多喜二の名作「蟹工船」の上映が行われ、2回の上映で約1000人の方が参加されました。

映画「蟹工船」は1953年、俳優・山村聡の脚本・監督としての第一回作。昨年は作者・小林多喜二の没後75年にあたり、「蟹工船」の大ブームが巻き起こっています。これは、現代の格差社会の中で将来の不安が加速する若者を中心に共感を呼んだものといえます。

第一回上映の後、笹山尚人弁護士による講演「現代の『蟹工船』」格差・貧困の実態と青年のたたかい」がありました。笹山弁護士が担当された事件など具体的な事例から、現代の「蟹工船」状況そして青年たちとのつながりについてお話が聞けました。

池上支部主催 「認知症予防学習会」 23人が参加

11月22日(土)14時から、池上会館第2会議室で「認知症予防学習会」が行われました。講師のヘルバースティンさん、ケアマネジャー小林豊子さんから、認知症についていろいろ



11月15日に馬込支部主催で「認知症サポーター養成講座」が開催され、18人が参加しました。参加者の方に、感想を寄せ

馬込支部主催 「認知症サポーター養成講座」に参加して

な話を伺いました。小林さんは、認知症とは何かや認知症の方にはどのような対応をすればよいのかなど具体的な例をあげながら、一つひとつ丁寧に話され、非常に参考になりました。とくに、認知症の症状のひとつとして「海馬」と「記憶の壺」のお話はとてもわかりやすかったです。

認知症を予防するにはどのような話を伺いました。小林さんは、認知症とは何かや認知症の方にはどのような対応をすればよいのかなど具体的な例をあげながら、一つひとつ丁寧に話され、非常に参考になりました。とくに、認知症の症状のひとつとして「海馬」と「記憶の壺」のお話はとてもわかりやすかったです。

認知症を予防するにはどのような話を伺いました。小林さんは、認知症とは何かや認知症の方にはどのような対応をすればよいのかなど具体的な例をあげながら、一つひとつ丁寧に話され、非常に参考になりました。とくに、認知症の症状のひとつとして「海馬」と「記憶の壺」のお話はとてもわかりやすかったです。



12月6日 すいとんの会 年中お腹をすかしてた

終戦後の昭和20年8月後半より、年中お腹をすかして話題といえは食べる話ばかり、また食べる話になってしまったとつくづく情けなかりました。お米のなかにお芋だの大根を適当の大きさに切って炊いたご飯でもおいしかったです。

お米の配給だと喜んで行列して待っていたとき、お米のかわりにアメリカ軍の砂糖が配給されたときもありました。戦争に

「ゆたかの家」の活動

*11月19日 ひさしぶりの食事会が開かれ、退職された北師長も手づくりのケーキ持参で参加。ゆたかの家(診療所2階)

*5月よりスタートした「ゆたかの家」は座つたら動けないほどいっしょに。19人の組合員さんで賑わいました。

ていただきました。

「認知症の方の増加もあり、簡単な講座だから受けてお

「認知症サポーター養成講座」に参加して

「認知症の方の増加もあり、簡単な講座だから受けてお

たら役に立つよ」と言われて、「何で私が?」と最初は思いましたが、そう言われてみれば私の叔母も認知症がはじまったのではないかと、周囲が心配していることを思い出しました。叔母の周囲の対応が少々過剰な感じもするのですが、私としては何も言える立場でもないし、知識もありません。この際、正しい認識を得て、少なくとも適切な接し方を学んでおくことは大切なことと思ひ参加の申し込みをした次第です。

最近のテレビ放映で急に有名な場所になったように見える会場の「スペースおとぎさ」には、開会を前にすでに満員の受講生と思われる人であふっていました。大田区の小鳥(おどり)さんの軽快な話で「認知症」の

*2月7日塩釜支部の新春のついでを開きます。ご参加ください。

たがアイデア」に2カ月間毎日ボランティアさんを派遣し、7月からはスタッフと相談し、4人(内1人はボランティア学校の卒業生)がボランティアに入っています。

その他、毎月誕生会やお楽しみ会として、晝食、手品、南京玉すだれ、朗読、みんなで歌おう(歌唱指導)、手話ダンス、民謡などを、多の方々との協力を得て、利用者さんに楽しんでいただいています。

*11月16日に豊町4丁目老人会主催で「インフルエンザ」研修を、田村院長の講義を60人の参加で受けました。大田病院の建設とケルンホーム、上おかげの開設についての説明もしました。

症状と支援、診断・治療、予防、接するときの心構えなどについて講義がすめられました。その後の質問コーナーでは、受講者自身の発症を気にしているかのような質問が多かったような気がしました。確かにサポーターとしての前に自分のためにも正しい知識の習得は大切なことと思ひます。

私としては今回の講座では「認知症の人の『あるがまま』を受け入れる心の余裕を持つこと」というアドバイスが一番の収穫でした。このような企画は、立場は違っても必ず役に立つタイムリーなものと思ひます。



地域医療をまもる薬局

(株)城南医薬保健協働

(URL) <http://jyounaniyaku.co.jp/>
(メール) jyounaniyaku@mte.biglobe.ne.jp

本 部	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.3298-2421 / fax.3298-2422
森 薬 局	〒143-0014	大田区大森中1-22-1	tel.3298-4901 / fax.3298-4904
み つ ぎ 薬 局	〒141-0033	品川区西品川2-6-4	tel.3493-1493 / fax.5434-8747
う の き 薬 局	〒146-0091	大田区鶴の木2-2-9	tel.5482-8931 / fax.5482-8933
目 黒 本 町 薬 局	〒152-0002	目黒区目黒本町6-6-5	tel.5720-5048 / fax.5720-5049
東 六 郷 1 丁 目 薬 局	〒144-0046	大田区東六郷1-24-16	tel.5714-4193 / fax.5714-4194
上 目 黒 4 丁 目 薬 局	〒153-0051	目黒区上目黒4-21-9	tel.5724-4193 / fax.5724-4198
介護ショップらくだ 福祉タクシーらくだ	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.5762-8568 / fax.5762-8569
本社営業所	〒143-0012	大田区大森東3-9-18	tel.3763-0204 / fax.5762-8569
久が原営業所	〒146-0081	大田区仲池上2-30-16	tel.5747-3870 / fax.5747-3871

福祉タクシー らくだ

タクシー運賃・料金は普通タクシーと同じ**初乗運賃710円**です。福祉タクシー「らくだ」は、車いすに乗ったまま、安全運転でお送りいたします。付き添いの方も3人までお乗りいただけます。

寝台車両の運賃は国土交通省認可料金です。(各営業所へお問い合わせください)

営業時間 午前7時～午後7時
受 付 午前9時～午後5時
年中無休

本社営業所
TEL 3763-0204 FAX 5762-8569

久が原営業所
TEL 5747-3870 FAX 5747-3871